



南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/>

南葵音楽文庫のバロック期の「ソナタ」に関連する楽譜資料と参考文献
手写楽譜

Georg Muffat, V Sonatas, [1682], N-7/30
Johann Christoph Pepusch, Eight Solos or sonatas, N-6/63
Henry Purcell, Sonata of four parts, N-6/68 (no.2のみ)
Henry Purcell, Sonatas of three parts, N-6/70

印刷楽譜

Carl Philipp Emanuel Bach, Sonatas, 1770, London, N-5/1
William Boyce, [12] Sonatas, 1747, N-6/15-16
Pietro Guglielmi, Six sonatas, 1785, London, N-5/17
Henry Purcell, Sonatas of three parts, 1683, London, N-6/69, N-2/12 他

参考文献

フリードリヒ・ブルーメ『ルネサンスとバロックの音楽』 ナ/762.0/ブコ
クロード・パリスカ『バロックの音楽』1975 ナ/762.05/パリ
皆川達夫『バロック音楽』講談社現代新書 291, 1972 ナ/762.05/ミナ

*南葵音楽文庫には、バロック期に限らず、ソナタについて書かれた多くの文献や楽譜が所蔵されています。和歌山県立図書館の「資料検索」で"sonata"、あるいは「ソナタ」を入力し、「資料区分」で「南葵音楽文庫」を選択の上、検索をしてみてください。また、和歌山県立図書館にも、ソナタなどについての文献が所蔵されています。

ソナタ sonata : 「楽器で演奏するもの」の意……sonare (楽器を演奏する) の過去分詞の名詞化したもの

① 16世紀末にイタリアでフランス世俗歌曲の器楽演奏が流行

カンツォーナ・アッラ・フランチェーゼ canzona alla francese (フランス風のカンツォーナ)
canzona per sonare, canzona sonata 器楽演奏されるカンツォーナ → sonata ソナタ

初期のソナタ：多部分的単一楽章形式

② 17世紀後半にアルカンジェロ・コレルリ A. Corelli の作品を通して「教会ソナタ sonata da chiesa」

と「室内ソナタ sonata da camera」の形(楽章構成)が定着

教会ソナタ：4楽章構成 緩-急-緩-急

室内ソナタ：舞曲楽章 (=組曲)



H.パーセル《10曲の4声のソナタ集》から第2番の冒頭(左から第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、通奏低音のパート譜 Henry Purcell, Sonata of four parts, N-6/68)